

受付番号	2021-21		
許可番号	大歯医倫 第 111174-0 号		
研究課題名	前期高齢者の MFT 訓練ポッピングによる最大舌圧増加等に関する評価		
研究責任者	元根 正晴	申請者	川西 順子
研究終了日	2023 年 3 月 31 日		
所属	医療保健学部 口腔保健学科	所属	医療保健学研究所 口腔科学専攻
職名	教授	職名	博士課程(後期)2年生
申請の概要			

矯正歯科治療においては、舌癖の改善を目的として主に成長期である小児に対して口腔の筋機能療法（MFT）が長く実施されてきたが、近年ではライフステージに合わせた口腔機能への対応として MFT が利用されている。MFT 訓練のひとつに舌尖の位置を意識し、舌を挙上させて舌打ちをするポッピングがある。本申請者らは、2021 年 2 月以降、健康成人を対象に研究を行い、それにより、ポッピングを実施することで他の口腔機能低下の改善に繋がることを示唆された。そこで本研究においては、健常有歯顎者でアイヒナーA 群（咬合支持域が上下左右 4 つ全て存在する状態）である前期高齢者を対象に、ポッピングの実施による最大舌圧増加および食塊形成機能、舌口唇運動機能等に関する評価を実施することで、全てのライフステージ、特にプレフレイル期、オーラルフレイル期にポッピングが適切に用いられることによる口腔機能低下の予防・改善が期待できると考える。